

実施 状況 (本宮市・3日目)

ふくしまの子・ふるさとの商店街プロデュース事業のワークショップとして、まき 鰤 車 商店街 (新潟県新潟市) を視察しました。

平成27年7月23日(木)10:45~15:00

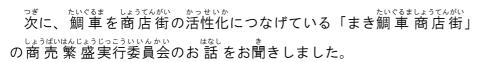
まいがたけんにいがたし たいぐるましょうてんがい 新潟県新潟市・まき鯛 車 商店街

〔ワークショップ〕

まず、元役場の建物を改修してできた「鯛の蔵」で、「鯛 車復活プロジェクト」のお話をお聞きしました。



えどしたいまっきから巻地区に伝わる鯛車は、 江戸時代末期から巻地区に伝わる鯛車は、 お盆の時期に、ろうそくを灯してこども達が引いて歩く郷土玩具で、晩夏の風物詩だったそうです。









人通りがなく寂しい街並みを何とかしようと、若い商店主達が立ち ***
上がり、お店に共通のポスターを貼ったり、のぼり旗をつくったりし たことで、5年ほど前から次第にお客さんが増えてきたそうです。

市町村の合併でなくなった「巻町」という名前を残すため、また にようてんがい あめ で見つかった古い鯛車を街のシンボルにしようということで 「まき鯛車商店街」となったそうです。

~ふくしまの子・ふるさとの商店街プロデュース事業について~

この事業は、ふるさとの商店街に賑わいを取り戻すため、地域のこども達が 商店街について楽しみながら学び、考え、アイディアを実現することにより Future From Fukushima. 「商店街の活性化」と「こども達のふるさとへの愛着心(まちづくりへの参画の第一歩)の醸成」を 図るもので、平成27年度は会津若松市、南相馬市、本宮市の3地域で実施しています。 ワークショップでこども達が考えたアイディアを、こども達が中心となって実現します。

※ 全国の皆様からいただいた寄付金を財源とする 「福島県東日本大震災こども支援基金」を活用しています。

商店街プロデュース事業



ふくしまから